

DINOS CORPORATION

サステナビリティ
レポート
2023

SUSTAINABILITY REPORT 2023



CONTENTS

サステナビリティ トップコミットメント	2
OUR VISION	3
サステナビリティビジョン2030	4
サステナビリティビジョン2030 2023年度取組み状況	7
• 全社的な取組み	7
• 2030年コミットメントの進捗状況	8
• 重点領域「健やかさ」を広げる取組み	9
• 重点領域「多様性」を応援する取組み	12
• 重点領域「自然環境」を持続可能にする取組み	15

※本レポート(対象期間:2023年4月~2024年3月)は、DINOS CORPORATIONのサステナビリティに関わる活動をステークホルダーの皆さまに共有することでご意見等を取り入れ、さらに当社活動を発展させていくことを目的として発行しています。

サステナビリティ トップコミットメント

社会情勢や気候変動がもたらすライフスタイルへの変化を捉え、お客様の“よりのしい未来の暮らし”を創るために

コロナ禍から脱した2023年度は社会・経済活動が活発になったものの、不安定な世界情勢、気候変動・地球温暖化が顕在化した異常気象や自然災害の発生等が、生活者の皆さまの暮らしにも大きな影響を与えています。そのため、世の中における持続可能な社会実現に対する意識や、企業が「SDGs」「サステナビリティ」へ取り組むことへの期待はますます大きくなっていると感じています。

こうした中、企業ビジョン「モノがたりで、暮らし、たのしく。」掲げる当社は、お客様とともに未来に向けて“よりのしい暮らし”を創造・共有していくため、「サステナビリティビジョン2030」のもと、「健やかさ」「多様性」「自然環境」の3つの重点領域を中心に取り組みを進め、サステナブルな未来の実現に貢献するとともに、私たち自身の成長も目指しています。

昨年度は、サステナビリティビジョン策定から一定期間が経過したことから、当社のサステナビリティへの取り組み状況に対するお客様のお声等も踏まえ、各重点領域で商品に関わる定量目標を、取り組みの「質」により重きを置いた定性目標へと改訂を行いました。

「健やかさ」では、お客様ごとに異なる様々なウェルビーイングを高めるために、それぞれのライフスタイルやライフステージに寄り添い、心身の健やかさを広げる商品・サービス・情報をご提供していきます。同時にお客様のウェルビーイングを高めるには、従業員一人ひとりが心身ともに健やかでウェルビーイングであることが前提と考え、働きがいと成長を感じながらパフォーマンスが発揮できるよう、さらなる「健康経営」を推進します。

「多様性」では、それぞれのお客様のいきいきとした暮らしの実現に向けて、日々充実した時間を創出するためのサポートや、「女性」「ジェンダー」「年齢」課題の解決につながるよう、多様性を応援する商品・サービス・情報をご提供していきます。また、お客様の多様性に寄り添う企業として社内においても多様性を重視し、従業員がその能力や個性を生かせる組織を目指し、「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン」の取り組みを積極的に進めます。

「自然環境」では、お客様の暮らしをより環境にやさしく心地よいものにするために、リサイクルや自然由来などの環境配慮視点、動物福祉・森林保全といった生物多様性重視など、自然環境を持続可能にする商品・サービス・情報をご提供していきます。さらに「責任ある紙の使用」「脱炭素」の観点から、自らの積極的な企業アクションとして、2023年度より長野県・木曾町において「ディノスの森」の植林活動も開始しました。

今後も社会情勢や気候変動等によって生活者の皆さまのライフスタイルは変化していくものと思われませんが、引き続き当社はそれらを捉え、私たち自身が多様な「モノがたり」を体現することでお客様に多様な「モノがたり」をご提供し、お客様の未来の暮らしを“もっとたのしく”するために、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2024年7月
株式会社 DINOS CORPORATION

代表取締役会長 小川 晋一

代表取締役社長 宇津 洋一



(左)代表取締役会長 小川 晋一、(右)代表取締役社長 宇津 洋一

OUR VISION

当社アイデンティティのもとになっているのは、お客様、商品・サービスなど全ての「モノがたり」です。

VISION

モノがたりで、くらし、たのしく。

「モノがたり」には2つの意味があります。私たちは単に商品・サービスをご提供する存在ではなく、商品が持っているストーリー、例えばその背景や生産者や私たちの想いといった、「モノがたりも一緒に届け伝える存在」でありたいということ。そしてもう一つは、お客様のそれぞれの多様な人生や生活にまつわるストーリー、つまり「お客様のモノがたりに関わる存在」でありたいということ。私たちは、「モノがたり」で、お客様の生活をわくわくさせる存在を目指します。

MISSION

- 知るを、もっと深く。** お客様の声を収集・分析し、新たな価値を創出します。
- つながりを、もっと強く。** お客様との接点に驚き・発見・感動を提供し、強い信頼関係を創出します。
- 品質を、もっと高く。** 期待を超える品質と付加価値で、お客様に喜びを提供します。
- 変化を、もっと早く。** スピードと柔軟性をもって、常に時代のニーズに合わせた提案をします。

VALUE

- お客様の目で。** 自分の視点だけではなく、お客様の視点になって考えよう。
- 品質の先へ。** 素材や機能だけではなく、真の満足を提供するために本質を追求しよう。
- 挑戦を常に。** 常識という枠に留まらず、常に挑戦する意識を持とう。
- 行動を一に。** 迷ったらずはじめて行動を。走りながら考え、スピードを大切にしよう。
- 仲間と共に。** 一人ではできないことも、仲間と協力し合い、より大きな価値を生み出そう。
- 仕事は粹に。** 自ら考え、自ら立ち回り、主体的に楽しく、スマートに働こう。

SLOGAN



Everything Has A Story

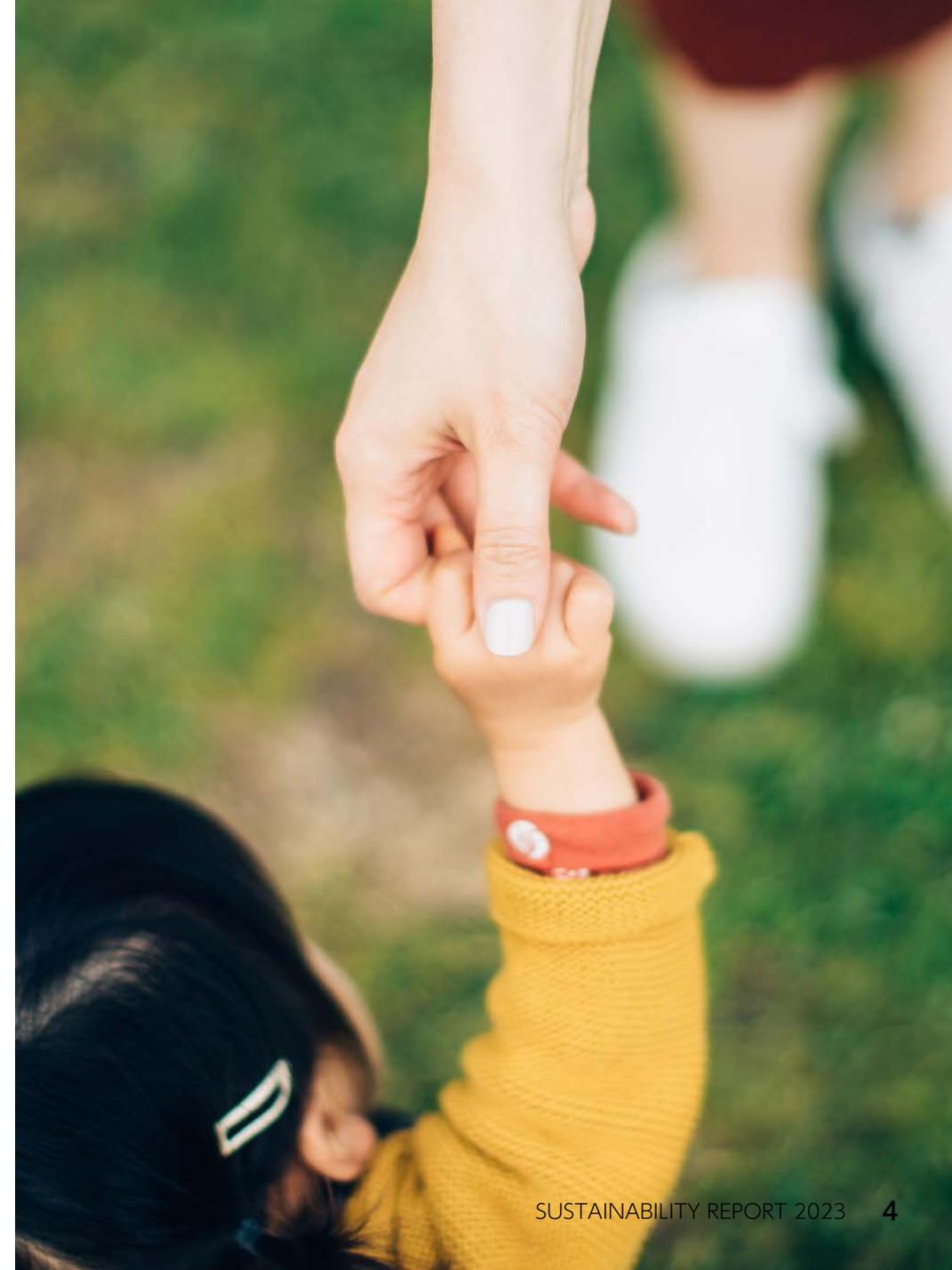
ビジョン「モノがたりで、くらし、たのしく。」の実現を目指し、私たち一人ひとりが高い意識を持ち続けるために策定したのが、コーポレートスローガン「Everything Has A Story」です。あらゆることに「モノがたり」を見出し、新たな「モノがたり」へとつなげていく、私たちの決意を宣言しています。



サステナビリティビジョン2030

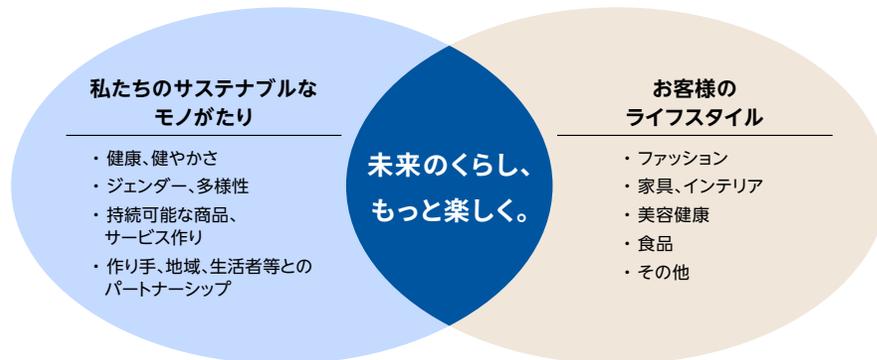
サステナブルなモノがたりで、
未来の暮らし、
もっとたのしく。

DINOS CORPORATIONは、お客様とともに“よりたのしい暮らし”を創造・共有していくため、様々な社会・環境課題に取り組み、持続可能な未来の実現に貢献しながら、企業としての成長を目指します。



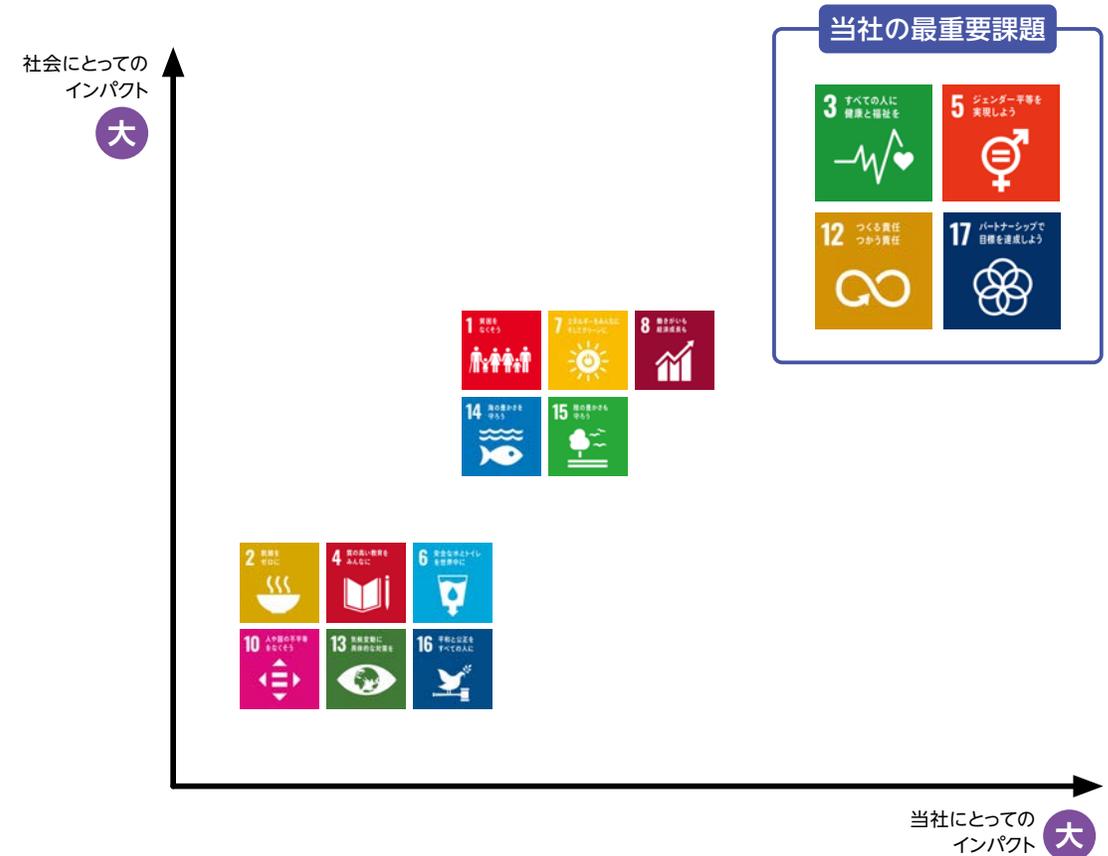
▶ サステナビリティビジョンの取組み方[2024年1月改訂]

- 当社では、企業ビジョン「モノがたりで、暮らし、たのしく。」や、それに基づくサステナビリティ方針を前提とし、当社が考える“これからの社会・創りたい未来”の姿について、SDGsと同様に2030年に向けて「サステナビリティビジョン2030」として2021年4月に掲げ、全社でその実現を目指しています。
- 当該ビジョンでは、「健やかさ」「多様性」「自然環境」を重点領域と位置付け、それぞれ設定した具体的な目標計画(定量・定性)のもと取組みを推進してきました。このたび、ビジョン策定から一定期間が経過したことを踏まえ、お客様からの声も参考にしながら内容について改めて見直しを図り、目標計画の一部改訂を行うこととしました。
- 健康経営及びダイバーシティ & インクルージョンなど、従業員に関わるコミットメントに対しては、健康要因に関する多角的かつ複数の指標や、D&Iに対する従業員理解度、業務上の意思決定を行うキーポジションの女性社員比率等を指標としています。
- 当該ビジョン実現に向けた推進体制として、社内にはサステナビリティ委員会を設置しています。同委員会は代表取締役をはじめ役員を含むメンバーで構成され、マテリアリティに基づく重点領域を中心として、サステナビリティに関する全体計画の立案、進捗状況の把握、達成状況の評価等を行っています。また、同委員会には3つの分科会(商品・脱炭素・ウェルビーイング&ダイバーシティ)も設置し、それぞれの分野において様々な取組みを推進しています。
- 取組みを進めるにあたり、公的ガイドラインや社会的視点を促す第三者との連携や、そこからの評価を得ることを検討していきます。
- 社会・環境に与える影響をよりよい方向へとつなぐ、商品・サービス、事業活動を通して、お客様とともに“よりのしい暮らし”を生み出していきます。



▶ 当社のマテリアリティ(最重要課題)

社内ヒアリングに基づいて洗い出した、SDGs(Sustainable Development Goals)の17ゴール・169ターゲットに関わるような当社事業活動について、社会にとってのインパクトと当社にとってのインパクトで評価し、それら影響の大きさについて2軸で表した、マテリアリティマップ上に15のSDGsゴールを分類しました。そのうち、「3(すべての人に健康と福祉を)」「5(ジェンダー平等を実現しよう)」「12(つくる責任つかう責任)」「17(パートナーシップで目標を達成しよう)」の4つを当社にとっての最重要課題としています。



サステナビリティ上の3つの重点領域

マテリアリティのうち4つの最重要課題をもとに、「健やかさ」「多様性」「自然環境」を、当社がサステナビリティ上で取組むべき重点領域と設定しました。

この3領域を中心に、社会や環境をより良い方向へとつなぐ、当社の商品・サービスや事業活動など、サステナブルな“モノがたり”を通して、お客様とともに未来に向けて“よりたのしい暮らし”を生み出していきます。

「健やかさ」を広げる

日々の暮らしにおける身体と心の健やかさが、自然と広がっていくきっかけを作り続けます。

「多様性」を応援する

多様な価値観や立場などを踏まえ、女性をはじめ様々な方々のより良い暮らしを後押しします。

「自然環境」を持続可能にする

たのしく豊かなくらしのために、すべての事業活動において、自然環境保全につながる取組みを推進します。

取組みテーマ

健やかなくらしを良質に

健やかな日常に丁寧に寄り添いながら、心地よさ、彩り、楽しさといった、毎日を豊かにする+αも織り込んでいきます。

アクションのキーワード

インナービューティー オーガニック

エルゴノミクス

つながり/コミュニケーション

より人生を長く健康に

人生100年時代に、老若男女が健康で充実した日々を長く送れるようにするためのサポートをします。

アクションのキーワード

運動 免疫力 眠り

美容 リハビリ/コンディショニング

取組みテーマ

自分らしさをすべての人に

すべての人が、自分らしく誇りをもって暮らせる世の中に向けて、一人ひとりのライフスタイルを整えるお手伝いをしていきます。

アクションのキーワード

女性の応援 時間と余暇(時短、時産)

解放(既成の役割からの)

ジェンダーフリー/ジェンダーレス

年齢を重ねる喜びを演出

それぞれの人が、自分らしく年齢を重ねていく足取りに、様々な喜びや楽しさを加える提案をしていきます。

アクションのキーワード

パーソナルエイジング

エイジレス/エイジフリー

セルフケア 介護支援

取組みテーマ

より自然環境にやさしいくらしへ

日々のくらしを、商品やサービスを通じて、自然環境にやさしく、持続可能にしていこうお手伝いをします。

アクションのキーワード

資源効率/サーキュラーエコノミー

水効率 汚染防止 生物多様性

CO2排出削減と再生可能エネルギー

責任ある紙の使用

通販事業者として責任ある紙の使用により、環境への影響の低減を追求します。

アクションのキーワード

紙使用効率

環境に配慮した用紙・印刷方法

こころを穏やかに

毎日を、あるいは特別な日を、よりゆったりと、より穏やかな気持ちで過ごせるようにする、様々なアイテムやサービスをお届けします。

アクションのキーワード

安心 リラックス 緑・自然

香り いたわり

お客様のために、私たちも健康に

お客様の健康に貢献するためにも、私たち一人ひとりが心身ともに健康であることを目指します。

アクションのキーワード

健康要因 健やかな職場

ワーク・エンゲージメント

弱い立場にある方に寄り添う

人を取り巻く課題に向き合い、様々な活動に継続的に取組みます。

アクションのキーワード

災害 貧困

組織をより多様に

多様性を尊重し、誰もがその能力や個性をより持続的に発揮できる組織を目指します。

アクションのキーワード

人事・採用 働き方 組織文化

ダイバーシティ&インクルージョン

気候変動の緩和に向けて

世界共通の課題である、気候変動緩和のため“脱炭素”に向け、自社及びサプライチェーンにおける取組みを進めます。

アクションのキーワード

エネルギー効率 再生可能エネルギー利用

カーボンニュートラル

サステナビリティビジョン2030 2023年度取組み状況

▶ 全社的な取組み

2023年度はコロナ禍が明けたことで社会・経済活動が活発になったものの、世界情勢の不安定さや、気候変動・地球温暖化が顕在化した異常気象や自然災害の発生など、社会・経済・環境と各分野において多くの課題が顕著となりました。また、「SDGs」の認知は約9割^{*1}、購入時に環境・サステナビリティへの配慮を参考にする生活者は6割超^{*2}といった調査結果も出るなど、さらに持続可能な世の中の実現に対する生活者の皆さまの意識向上が見られた1年となりました。

その中において当社は、お客様とともに“よりのしいくらし”を創造・共有していくため、様々な社会・環境課題に取組み、持続可能な未来の実現に貢献しながら企業としての成長を目指すため、当社コミットメント「サステナビリティビジョン 2030」の実現を目指し、様々な取組みを推進いたしました（※1: 2023年2月実施、電通「第6回「SDGsに関する生活者調査」」、※2: 2023年12月実施、電通「第13回「カーボンニュートラルに関する生活者調査」」、より）。

• 当社コーポレートガバナンス体制の一部としてのサステナビリティ委員会

ビジョン実現に向けた推進体制として、社内にサステナビリティ委員会を設置しています。同委員会は代表取締役をはじめ役員を含むメンバーで構成され、マテリアリティに基づく重点領域を中心として、サステナビリティに関する全体計画の立案、進捗状況の把握、達成状況の評価等を行っています。また、今年度は同委員会に設置された分科会体制を見直して、商品・脱炭素・ダイバーシティ & ウェルビーイングの3つとし、それぞれの分野において様々な取組みを推進しています。



• 「サステナビリティビジョン2030」の商品に関するコミットメントの一部を改訂

「サステナビリティビジョン2030」の3つの重点領域「健やかさ」「多様性」「自然環境」においては、それぞれ設定した具体的な目標計画(定量・定性)のもと取組みを推進してきました。しかしながらビジョン策定から一定期間が経過したことを踏まえ、2023年6月に実施したお客様アンケートのご意見等も参考にしながら内容について改めて見直しを図り、商品に関する目標計画の一部改訂を行いました(最新のコミットメントと2023年度進捗状況は本レポートP8)。

• 「森をつくる。」「国産材を届ける。」 森に寄り添う2つの取組み

国土の約7割を森林が占める日本では、木材は家具や建物など様々なものに使われており、日本人のライフスタイルには欠かすことのできない大事な資源です。さらにCO2吸収による地球温暖化防止や、水源かん養(森林が水資源を蓄え、育み、守っている働き)といった、自然環境保全の上でも重要な役割を果たしています。当社では、植林による「森をつくる。」(取組み紹介は本レポートP18)、そして国産材商品の企画・販売「国産材を届ける。」(事例紹介は本レポートP17)という2つの活動で、すこやかな森を育むことに貢献しています。

「森をつくる。」「国産材を届ける。」私たちの2つのストーリー



• 産学連携や奨学生支援など、未来を担う若者を応援

2023年6月より、当社と長岡造形大学、取引先であるIKASAS DESIGNとの間で、地域とつながりながら持続可能なものづくりを実現するため、社会で即戦力として活躍できるプロダクトデザイナー人材育成の産学連携プロジェクトをスタートしました。また、2024年2月には、京王電鉄、京王不動産とともに奨学金を受給する学生の経済的課題解決貢献を目的に、新品家具レンタルサービス「フレクト」の返却家具を無償提供するプロジェクトを開始。様々な形で未来を担う若者たちを応援しています。



長岡造形大学での産学連携プロジェクト

• 新入社員サステナビリティ研修など社内向けコミュニケーション推進

社内においてより一層、「SDGs」「サステナビリティ」や当社ビジョン等への理解向上を目指し、新入社員を対象としたサステナビリティコミュニケーションを考える研修プログラムをはじめ、ビジネスのヒントとするためのウェビナー・ワークショップ等を開催しました。その他、各種情報発信やe-ラーニングの実施など、サステナビリティに関する様々な社内コミュニケーションを推進しました。

2030年コミットメントの進捗状況

「サステナビリティビジョン2030」では、3つの重点領域にそれぞれ3つもしくは4つの取組みテーマを設定しており、それらに対して2030年目標(定量・定性)を掲げております。これらのコミットメント進捗状況については、毎年度、当サステナビリティレポートにおいてご報告させていただきます。なお、ビジョン策定から一定期間が経過したことやお客様アンケートの結果等を踏まえ、2024年1月に商品に関する目標計画の一部改訂を行いました。

重点領域:「健やかさ」を広げる		
日々の暮らしにおける身体と心の健やかさが、自然と広がっていくきっかけを作り続けます。《2023年度取組み状況:P9~11》		
取組みテーマ	2030年コミットメント	2023年度実績
健やかな暮らしを良質に	健やかな日常に丁寧に寄り添いながら、心地よさ、彩り、楽しさといった、毎日を豊かにする+αも織り込んでいきます。	
より人生を長く健康に	人生100年時代に、老若男女が健康で充実した日々を長く送れるようにするためのサポートをします。	お客様のウェルビーイングを高めるために、健やかさを広げる商品・サービス・情報を提供します。
こころを穏やかに	毎日を、あるいは特別な日を、よりゆったりと、より穏やかな気持ちで過ごせるようにする、様々なアイテムやサービスをお届けします。	「健やかさ」を広げる商品等に関するレポートはP9~11
お客様のために、私たちが健康に	お客様の健康に貢献するためにも、私たち一人ひとりが心身ともに健康であることを目指します。	健康要因を様々な指標に基づいて多角的に捉え、従業員が心身ともに健やかで、それぞれの能力が十分に発揮できる状態を実現します。
		定期健康診断受診率 … 99.9% (2030年目標:100%) ストレスチェック受診率 … 78.1% (2030年目標:100%) 運動習慣比率* … 23.7% (2030年目標:70%、1週間に30分以上の運動を2回) 喫煙習慣比率* … 17.4% (2030年目標:0%) ※2022年度に集計し2023年度に実績として報告

重点領域:「多様性」を応援する		
多様な価値観や立場などを踏まえ、女性をはじめ様々な方々により良いくらしを後押しします。《2023年度取組み状況:P12~14》		
取組みテーマ	2030年コミットメント	2023年度実績
自分らしさをすべての人に	すべての人が、自分らしく誇りをもって暮らせる世の中に向けて、一人ひとりのライフスタイルを整えるお手伝いをしていきます。	お客様の自分らしくいきいきとしたくらしを実現するために、多様性を応援する商品・サービス・情報を提供します。
年齢を重ねる喜びを演出	それぞれの人が、自分らしく年齢を重ねていく足取りに、様々な喜びや楽しさを加える提案をしていきます。	
弱い立場にある方に寄り添う	人を取り巻く課題に向き合い、様々な活動に継続的に取組みます。	継続的に様々な社会貢献活動を推進します。
組織をより多様に	多様性を尊重し、誰もがその能力や個性をより持続的に発揮できる組織を目指します。	ダイバーシティ&インクルージョンに関するアンケートでの「理解」回答率… 28.5% (「意味を含めて知っている」と回答) eラーニングの受講率… 83.4% (いずれも2030年目標:100%)
		業務上の意思決定を行うキーポジションの女性社員比率を、2030年までに50%以上にします。 35.0%

重点領域:「自然環境」を持続可能にする		
たのしく豊かなくらしのために、すべての事業活動において、自然環境保全につながる取組みを推進します。《2023年度取組み状況:P15~18》		
取組みテーマ	2030年コミットメント	2023年度実績
より自然環境にやさしくらしへ	日々のくらしを、商品やサービスを通じて、自然環境にやさしく、持続可能にしていってお手伝いをします。	お客様のくらしをより環境にやさしく心地よいものにするために、自然環境を持続可能にする商品・サービス・情報を提供します。 [サーキュラーエコノミー]の実現につながるような、既存事業の見直しや新たな事業を検討します。
責任ある紙の使用	通販事業者として責任ある紙の使用により、環境への影響の低減を追求します。	お客様からのご注文1回あたりの紙媒体における紙使用効率を、2030年には50%向上させます(2019年対比)。 できる限り環境に配慮した用紙・印刷方法の採用を推進します。
気候変動の緩和に向けて	世界共通の課題である、気候変動緩和のため“脱炭素”に向け、自社及びサプライチェーンにおける取組みを進めます。	温室効果ガス削減のため、CO2排出量(スコープ1・2及び3の一部)を2030年までに15%削減します(2020年対比)。* 25.5%増加*

*「気候変動の緩和に向けて」の2030年コミットメントにおけるスコープ3の算定については、現状ではカテゴリ4(輸送・配送(上流))、カテゴリ5(廃棄物)を対象。なお、2023年度はカテゴリ4に算入される配送会社経由の排出量について算出方法変更により大幅に増加

「健やかさ」を 広げる

HEALTH

より快適な暮らしをサポートする、 ウェルビーイング視点の取組み

長寿大国の日本において、年々心身の健康に対する関心が高まっています。当社でも、お客様のより快適な暮らしを応援するため、身体の負担を軽減する家具や靴をはじめ、安全で優しいオーガニック商品、質の高い睡眠を追求した寝具類など、様々な商品を提供しました。また、従業員が健やかで「幸せ」に働ける、ウェルビーイング視点での取組みを推進。その取組みが評価され、2023年度も「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定されました。

体の負担を軽減する、 エルゴノミクス視点でつくられた 商品を提供

長時間のデスクワークだったり、うつむいた姿勢でスマホを長く覗き続けるなど、日頃の生活習慣が体に大きな負担をかけていることが多く、体調不良に悩む人も増加傾向にあるといわれています。

当社では、これらの要因を軽減するため、芝浦工業大学と産学共同研究で企画した、体にラクな姿勢をサポートするチェアや、素材や靴底の工夫で、長く歩いても疲れにくい靴など、エルゴノミクス視点の独自構造で作られた、各種商品を提供しています。

今後も、疲労軽減に着目した様々な商品を展開していくことで、お客様のより快適な暮らしをサポートしていきます。



独自のクッション構造で、
ラクな姿勢をサポートする高機能チェア



かかととつま先に掛かりがちな衝撃と
圧力を足裏全体に分散し、
体への負担を軽減した靴

「健やかさ」を 広げる

幅広い年代に対応、 楽しく気軽に使える 運動サポート商品を展開

ウォーキングやマラソンを健康習慣にする人が増える一方、継続的な運動は苦手という方のために、家で簡単に行える運動アイテムを提供しました。

スポーツメーカー「ミズノ」が開発した、全身エクササイズやストレッチを可能にするフィットネスアイテムや、ウェイトのついたブレードを振るだけのエクササイズアイテムなど、お客様にご好評をいただいています。

今後も、誰もが楽しみながら続けて行える、機能的な運動器具を展開していきます。



上に乗ってゆらゆら揺れるだけ。
お腹から足腰まで鍛えられるボード



縦、横に振ることで全身の
筋トレが可能な、
ポディヘルスブレード



有機栽培で育てたお米と、
有機溶剤を使用せずに搾油したこめ油

有機農法で美味しく味わう、 安全で健やかな食生活を提案

当社では、健康な身体づくりに欠かせない、様々な食品について、安心・安全に徹底的に配慮したものを展開しています。

例えば、有機JAS米は種もみから収穫まで、化学合成農薬と化学肥料を使用せず有機栽培で育てられており、また、圧搾製法で搾油したこめ油は国産の米糠・米胚芽から有機溶剤を使用せずに作られています。

今後も、お客様の食生活がより健やかに安全で豊かなものになるよう、商品を厳選し提供していきます。

シンプルで健やかな美しさを導く、 独自素材LPS配合のコスメを提案

ストレスなどに左右されず、何歳になっても美しく、健やかであるために、オリジナルコスメブランド「イミニ」では、年齢や生活環境免疫力に着目した、独自素材であるパントエア菌LPS配合のスキンケアやコスメを提案しています。

不調を抱える肌のためのLPS高濃度美容液や、澄んだ透明ツヤ肌に仕上げるパウダーなど、多彩に展開するイミニブランドがこだわるのは、自然由来であること。そのため、製品の配合成分に十分配慮した商品開発を行っています。



LPS高濃度美容液「ファイン100」と
自然に美しく見せてくれる「ブライトアップパウダー」



からだを知る。私のこれからを創る。
人間ドックの受診をお考えの方には、自分の不調の先に何か病気があるのでは？と、多かれ少なかれ、漠然とした不安を持つ方もいるかもしれません。だから私たちは、女性が抱える、どんな不安も無い、お一人お一人が自分らしく、健やかに美しく年齢を重ねていくための「からだのライブラニング」を一緒に考えています。

従業員の健やかな働き方へ貢献するため、
様々な課題に向き合う、
「ウェルビーイング」ウェビナーを実施



経済産業省及び日本健康会議が実施する
「健康経営優良法人2024」にも選定

従業員がイキイキと働ける、 快適な職場環境づくりを推進

当社では、従業員が快適に働ける職場づくりを推進しています。その一環として、心身ともに健やかに働くことの大切さの理解向上や、健康課題などを学ぶための「ウェルビーイングセミナー」の実施や、「well-being通信」を毎月発行するなど、様々な社内啓蒙活動を行っています。

また、2023年度においても「健康経営」に関する取組みが評価され、健康経営を実践する企業を顕彰する制度による、「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に5年連続で認定されました。



質の高い眠りを追求して 様々な点に着目、 人それぞれの睡眠悩みに合わせた寝具商品

経済協力開発機構の調査結果によると、1日の平均睡眠時間が加盟国のうち日本が最も短く、また、厚生労働省の調査でも約4割が1日の睡眠時間を6時間未満と回答。今や日本人の睡眠不足は世界トップクラスであり、健康維持における大きな課題となっています。そのため当社では、より良い眠りのため、様々な専門家や専門メーカーとともに各種寝具商品を企画しています。日本人に多いストレートネックは慢性的な疲れ・睡眠の質低下の原因になると言われますが、人気の整体院監修によるストレートネックの方に向けた枕は、頸椎の自然なカーブを作ることでのフィット感が増し、リラックスしやすい寝姿勢へと導くアイテムです。また、老舗マットメーカーと開発した9層構造の国産マットレスには、「ユーロトップ」と呼ばれるハイクラスホテルでも採用されている構造を採用。身体に負担をかけず寝返りしやすく、それによって疲れが残らない睡眠につなげることを目指しています。こうした睡眠の質向上を阻害する細かな要因にも着目し、寝具商品開発に活かしています。





「多様性」を 応援する

DIVERSITY

すべての人が不安なく暮らせる社会を応援、 商品や寄付で貢献する取組み

当社の重点領域のひとつに掲げている「多様性」。すべての人が幸せに暮らせる社会を目指し、商品や寄付を通じ、継続的な社会貢献活動を行っています。商品では、女性特有の悩みや不安に寄り添うフェムケアアイテムをはじめ、家事の負担を軽減し、時短に役立つアイテムを幅広く展開しました。社内においても、従業員ひとり一人がやりがいを感じ、能力が発揮できる職場づくりと、多様な働き方を推進しています。

発展途上国支援への取組み、 エシカルなフェアトレード商品を提供

当社では、「弱い立場の方に寄り添う」を取組みテーマのひとつに掲げ、立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す、フェアトレードな商品を提供しています。

例えば、ネパール農村部の女性雇用をサポートするため、1994年に古都ラリトプールに設立されたブランド「EVEREST FASHION」による、ハンドメイドのインテリア雑貨や、10年以上世界フェアトレード機関の認証を取得している、デンマーク発のブランド「egos(イゴス)」の生活雑貨など、それら商品の魅力とともに、生産背景についてもわかりやすくお伝えしています。

今後も、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指すための、様々な商品を提供していきます。



羊毛をフェルトにし、
ハンドメイドでつくられた
「EVEREST FASHION」のフェルトドッグ



北欧デンマークでデザインされた、
「egos(イゴス)」のウールスリッパ

「多様性」を 応援する

女性の誰もが抱える悩みや不安を、 ポジティブにサポートする商品を提案

ここ数年、女性の誰もが抱えるデリケートな悩みや不安に向き合う、フェムケア商品が注目されています。フェムケアとは「Feminine (女性の)」と「ケア(Care)」をかけたあわせた用語であり、女性の体や健康のケアをする製品(商品)・サービスをあらわします。

当社でも、他人には相談しにくいと、ひとりで不安を抱える女性にも寄り添う、デリケートゾーンケアやセルフプレジャーなどの商品を提供しており、多くのお客様にご利用いただいています。

今後も、より一層ニーズが高まるヘルスケアやセクシャルウェア視点の商品・サービスを提供することで、すべての女性が、ポジティブに自分と向き合えるセルフケアができるよう、お手伝いをしていきたいと考えています。



女性向けセルフケア・アイテムブランド
「iroha (イロハ)」

すべての従業員が、 やりがいと成長を感じられる、職場環境を推進

当社では多様性を重んじ、ともに働く仲間の個性を尊重し合いながら、一人ひとりの能力が発揮できる職場環境づくりを目指しています。

2023年度は、子育て支援の一環として、男性による育児サポートの大切さを啓蒙し、育休を取得しやすい環境づくりに努めるとともに、「子育てサポート」企業として厚生労働大臣による特例認定の「プラチナくるみん」を取得。また、男女とも育休取得率100%となりました。

このほか、任意団体「work with Pride」による、LGBTQ+への取り組み評価「PRIDE」指標において「シルバー」を、D&Iに取り組む企業を認定する「D&I Award 2023」では、昨年に続き最高位である「ベストワークプレイス」を獲得しました。



災害支援や、世界の子ども・女性たちの支援など 社会貢献活動に参加

長年にわたり継続して実施している社会貢献活動として、当社の通販カタログの売上の一部を、世界で貧困に苦しむ子どもたちや、難民女性を支援する活動に寄付しています。

また、2024年元旦に発生した「令和6年能登半島地震」の被災地支援のため義援金並びに物資の寄付を行いました。



能登半島地震被災地支援のため、石川県七尾市に、
寝具230点をお届け

「国連WFP協会」の
「学校給食支援」に寄付

〈2023年度寄付先一覧〉

寄付先	2023年度寄付額	寄付概要
認定NPO法人 国連UNHCR協会	727,720円	難民女性における生理用品支援のための寄付
認定NPO法人 国連WFP協会	1,802,130円	子どもたちの給食1人1日分相当を寄付
日本財団	616,530円	すべての子どもたちに、 安心できる居場所を提供するための活動に寄付
公益財団法人 日本対がん協会	149,160円	乳がんをなくす「ほほえみ基金」への寄付
公益財団法人 日本動物愛護協会	6,000円	動物愛護支援の活動に寄付
日本赤十字社	435,900円	令和6年能登半島地震災害義援金として寄付
サザエさん募金経由で日本赤十字社	1,000,000円	令和6年能登半島地震災害義援金として寄付
緊急災害対応アライアンス(SEMA)	ヒートループの掛毛布・ 敷パッド230組	令和6年能登半島地震支援として寄付

Story

料理を誰にでも「手軽」で「楽しく」 時短を叶えるユニークなキッチンアイテム

日々やることに追われる忙しい現代人にとって、家事の効率化は永遠のテーマとも言えるもの。中でも毎日の料理は献立や下準備など、煩わしさを感じる方も多いのではないのでしょうか。当社では、お客様の多様なライフスタイルを整えるお手伝いをするべく、どなたでも手軽に使えて“時短”を叶える、ユニークなキッチンアイテムをラインナップしています。例えば面倒なボウルの出し入れが片手のできるステンレス製の4段ボウルラックは4サイズが収納可能で、一番下の大きなボウルでもスルッと簡単に出し入れできます。また、刻む・加熱・攪拌を自動で行ってくれる調理ポットを使えば、材料を入れて放ったらかしておくだけでスープが完成。さらに、遠心力で野菜の水切りをするサラダスピナーは、蓋上部のノブを片手で押すだけで簡単に水切りができ、野菜が入ったボウルはそのまま食卓に出して使っていただけます。めんどくさいことは時間をかけずに簡単に、そして少しでも調理の時間を「楽しい」と思っていただけのような商品を提供しています。

「自然環境」を 持続可能にする

ENVIRONMENT

環境に優しい素材を追求、 羽毛に替わる 「カポック」を使用した取組み

持続可能な未来の実現に向け、ファッションやファブリックなどの繊維業界では、環境配慮の視点から、サステナブルな素材を使用する取組みが普及しています。

当社でも、汗や湿気を吸って発熱し、羽毛に近い軽さと暖かさを兼ね備えていることで知られる繊維、「カポック」を採用した、アパレルや寝具などを開発しました。「カポック」は、東南アジアを中心に自生する植物で、少ない水で育ち、強い農薬も不要。木の実から繊維を収穫できるので木を伐採することなく、環境に悪影響を与えにくいサステナブルな素材として注目されています。

今後も、自然環境の負荷軽減につながる、天然素材や再生素材などを採用したアイテムを展開していきます。

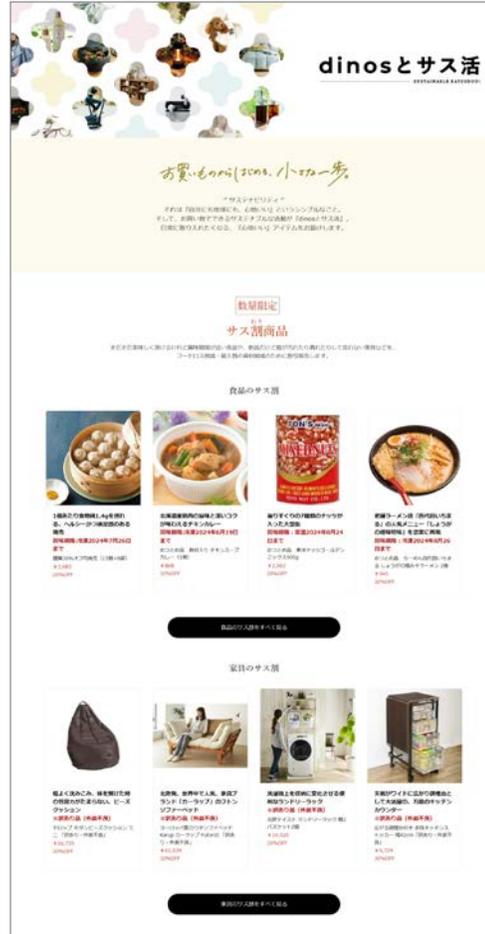
貴重な資源をきちんと守り、大切に使い続ける 環境にやさしい取組み

当社では、環境配慮商品をはじめ、サービスや情報の提供など、様々な視点からの自然環境に関する取組みを行っています。商品では、ダウンの希少性を鑑み、木の実由来の代替素材を使用した寝具やアパレルなどの開発を進めたり、情報としてお客様に選んでいただきやすいよう、サステナブルな商品だけを集めたwebコンテンツを開発しました。また、家具レンタルの返却商品を廃棄せずに奨学生に無償提供する取組みや、世界共通の課題である「脱炭素」に向けた企業アクションとして、長野県木曾町で植樹活動を開始しました。



「木に実るダウン」といわれる素材「カポック」を中わたりに使用した、ケットやコート

「自然環境」を 持続可能にする



ディノスオンラインショップ内に設置されている、
[\[dinosとサス活\]](#)

サステナブルな商品に特化、 webコンテンツ 『dinosとサス活』をスタート

当社では、お客様とともにサステナブルな未来を実現していくことを目指し、「お買い物から始める、小さな一歩。」をテーマに掲げ、サステナブルな商品を集めたコンテンツ『dinosとサス活』をディノスオンラインショップ内に立ち上げました。

主に環境に配慮した商品を取り揃え、商品情報だけでなく、商品背景にあるストーリーをご紹介するコラムも定期掲載しています。さらに、フードロスへの取組みとして賞味期限が迫った食品やシーズン外の商品、あるいは外装不良などで正規販売ができない家具などを割引価格でラインナップした「サス割」コーナーも設置。お買い物为社会課題の解決に繋がる、“サステナブルな気づき”を生むきっかけになるようなコンテンツ作りを行っています。



レンタルで返却された家具を、 『奨学家具』として無償提供

2023年度より、当社が展開する、新品家具レンタルサービス「flect」で返却された家具を、『奨学家具』として公的奨学金を受給する大学生を対象に、無償提供する取組み「奨学生応援プロジェクト」を開始しました。

レンタルサービスではお客様から返却される家具をいかに再利用するかが課題ですが、環境配慮の視点から家具を廃棄せず、社会に役立つものとして再生させる取組みのひとつとして、同プロジェクトを行っています。

今後も、未来を創る学生の皆さんの経済的課題の解決に貢献するとともに、廃棄の削減にもつなげるべくこの取組みを続けていきます。



[奨学生応援プロジェクト](#)
[奨学家具プロジェクト](#)



素材の再利用をテーマにした、 フラワーギフトを提案

当社が運営する「フジテレビフラワーネット」では、「人と環境に優しいお花のギフト」の特集を展開し、日々の暮らしを彩るフラワーを提供しています。

この中では、環境配慮の視点から、再生ペットボトルやプラスチックを原材料に使用することをコンセプトに掲げた、造花メーカー「東京堂」のオリジナルブランド「ReCO(リコ)」のフラワーをラインナップ。再生プラスチックを使用したアーティフィシャルローズのフレームアレンジメントや、ビビッドなバラをアンティーク風にアレンジしたブーケに、再利用したガラスの花瓶をセットにしたものなど、彩りを添えながらもそこに環境へのやさしさをプラスした商品を提案しています。



再利用したペットボトルやガラスをセットにした、
フラワーギフトを提供





デザイン性の高さが 存在感を放つ、 サステナブルな国産材スツール

スギやヒノキに代表される針葉樹に比べると硬いという特長から、より家具材に適しているとされている広葉樹。長年、国産材家具を取り扱ってきた当社では、日本各地で産出される様々な広葉樹に着目し、家具の5大産地のうち2つのエリアから職人が作り出すスツールをご紹介します。

北海道・旭川で生まれる「マッシュルームスツール」は、寒冷地である北海道で育った木目の細かい木材・ナラを用い、同じく道内の畜産業の副産物である天然皮革を高品質の「北海道レザー」として座面に施した商品です。また、福岡県・大川で作られる「モナカスツール」は、和菓子に着想を得てデザインされた再生ポリエステル等が素材のカラフルで可愛い座面に、広葉樹の中でも成長が早く、一般的な針葉樹と比べCO₂の吸収能力が約3倍高いとされる九州産のセンダムを使用しています。どちらの商品もスタイリッシュなアイテムとして多彩なライフスタイルに寄り添うとともに、国産材を適切に伐採→商品化→再び植林という森の健全な「循環」にも役立っています。



「自然環境」を持続可能にするための一環として、当社では2023年度より、音楽家の坂本龍一さんが創立した森林保全活動に取り組む一般社団法人more treesとともに、長野県木曾町・開田高原に「ディノスの森」として多様性のある森づくりをスタートしました。



長野県南西部に位置し、総面積の90%が山林だという緑豊かな木曾町・開田高原に「ディノスの森」があります。山々に囲まれた木曾町は、古くから「木曾ヒノキ」に代表される銘木の産地として知られており、林業や木工製品の生産が盛んな場所です。そして標高1,000m以上に広がる開田高原は夏でも冷涼な気候で、山々や川に恵まれた美しい自然の広がるエリアです。

初年度の植林状況とCO2吸収量

木曾町では人工林の林齢が高齢化し、林相転換（森林の状態を人為的に変えること）が求められており、今回の取り組みによってヒノキの単一林から、「多様性のある森」への転換を目指しています。初年度となる2023年度は、「秋植え」「春植え」のどちらが植林時期として適しているか見極めるために、2回に分けて植林を実施。合計1.11haに、コナラ・ミズナラ・クリ・ヤマハンノキ・シラカンバ・オオヤマザクラの合計6樹種・2,220本植林しました（秋植えは2023年11月、春植えは2024年6月に実施）。また、林野庁が提供する「森林による二酸化炭素吸収量の算定方法」に基づいて算定した結果、2023年度末時点で当植林活動によるCO2吸収量は2.0t-co2となりました。



「森林保全を通じた地方創生事業に関する連携協定」を木曾町と締結

今回の植林活動に伴い、開田高原がある木曾町との間で、「多様性のある森づくり」「木材の利活用促進」「SDGs」等で連携すべく、2023年10月に「森林保全活動を通じた地方創生事業に関する連携協定」を締結しました。

次年度以降は、お客様の口コミ数に応じて植林を実施

昨年実施したアンケートでは、6割のお客様が一番関心の高い社会課題として「自然環境」を挙げていることもあり、お客様の“森を応援したい”という思いを森づくりにつなげています。具体的にはお客様の口コミの数3万件を次年度植林成立のゴールとして示し、お客様の関心・意欲も高められるよう、植林状況等も随時報告しています。

未来につながる、森づくり。「ディノスの森」 https://www.dinos.co.jp/forest_s/

一般社団法人more trees *moreTrees* <https://www.more-trees.org/>

DINOS CORPORATION



サステナビリティレポート 2023

株式会社DINOS CORPORATION

<https://dinos-corp.co.jp/>

2024年7月発行

